

# 漁海況情報第12報 (2016年3月9日発行)

宮城県水産技術総合センター

連絡先：0225-24-0159

※本報は「<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/mtsc/>」でも公開中です。

## 1. 海況

### 本県沿岸の141° 50' E付近まで北上暖水が波及しています。

宮城県沿岸から沖合海域の表面水温は、7～11℃台となっています。平年と比較すると、仙台湾で平年並、141° 50E 以東では北上暖水の波及により2～5℃高めとなっています。

100m深水温は8～9℃台となっており、平年と比較すると100m深も北上暖水の波及により1～3℃高めとなっています [P1.水温水平分布図] [P1.水温平年偏差図]。100m深 5℃を指標とする親潮第一分枝の南下はみられていません。

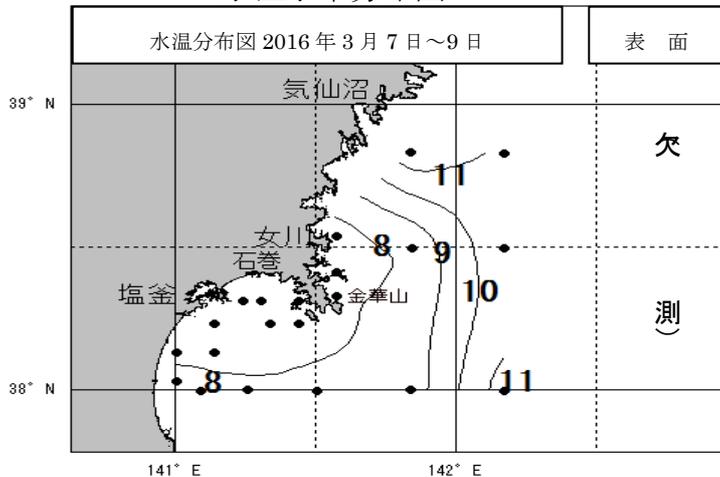
水温鉛直断面図をみると、気仙沼沖合、雄勝沖合、亶理沖合ラインのいずれも表層から100～150m深まで8℃以上の水温となっています [P2.水温鉛直断面図]。

(一社) 漁業情報サービスセンターによると、表面水温10℃の北上暖水が本県沿岸まで波及しています [P2.東北海域の海況図：(一社) 漁業情報サービスセンター]。

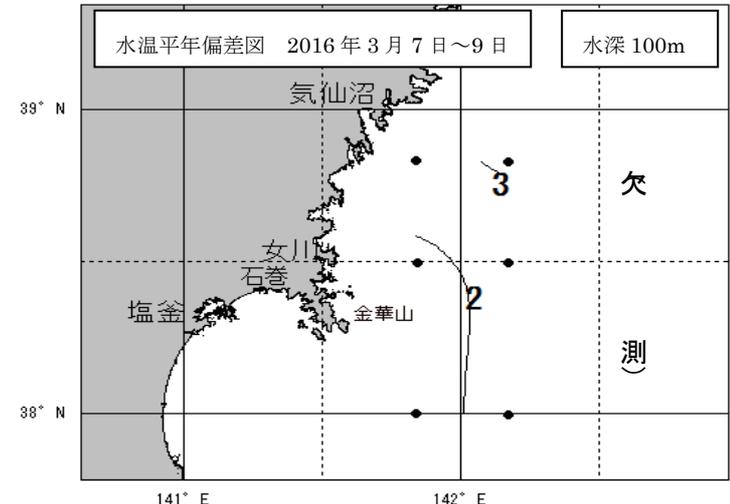
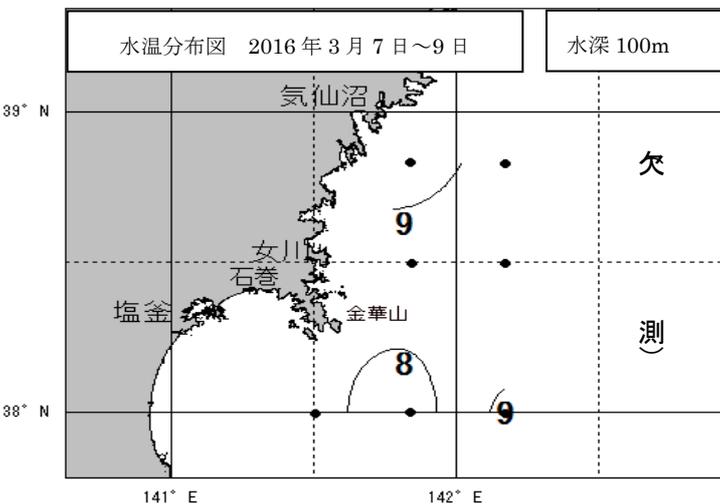
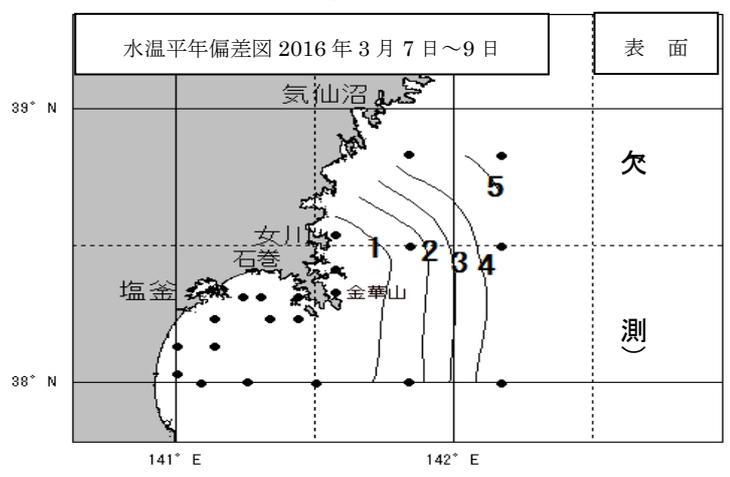
3月中旬の定地水温は6～8℃台となっています。平年値との比較では、気仙沼(杉ノ下)が「平年並」、江島及び佐須浜が「やや高め」となっています [P2.定地海洋観測結果]。

海底直上水温については、5～8℃台となっており、昨年と比較すると、仙台湾で概ね1℃高めとなっています [P3. 海底直上水温図]。

・水温水平分布図



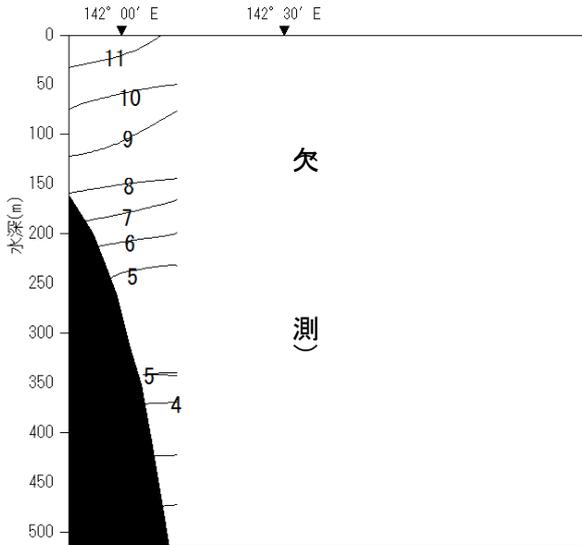
・水温平年偏差図 (現在水温と平年水温との差)



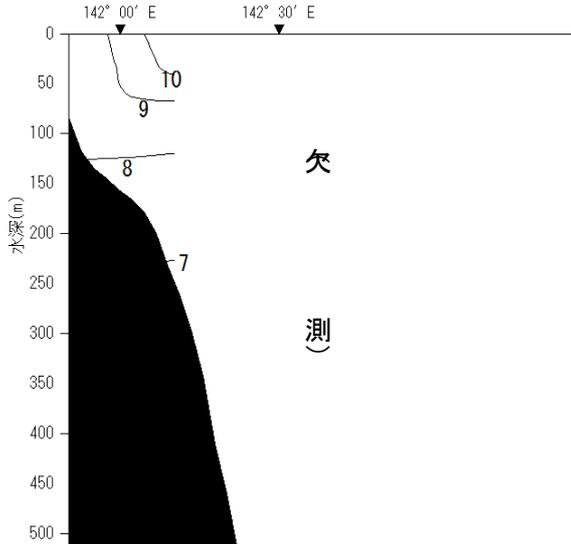
※海洋観測はみやしおと開洋が実施しました。

・水温鉛直断面図

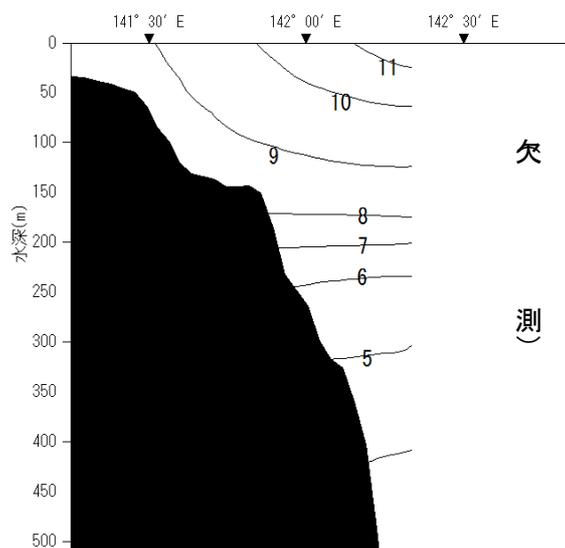
38° 50' Nライン(気仙沼沖合ライン)



38° 30' Nライン(雄勝沖合ライン)

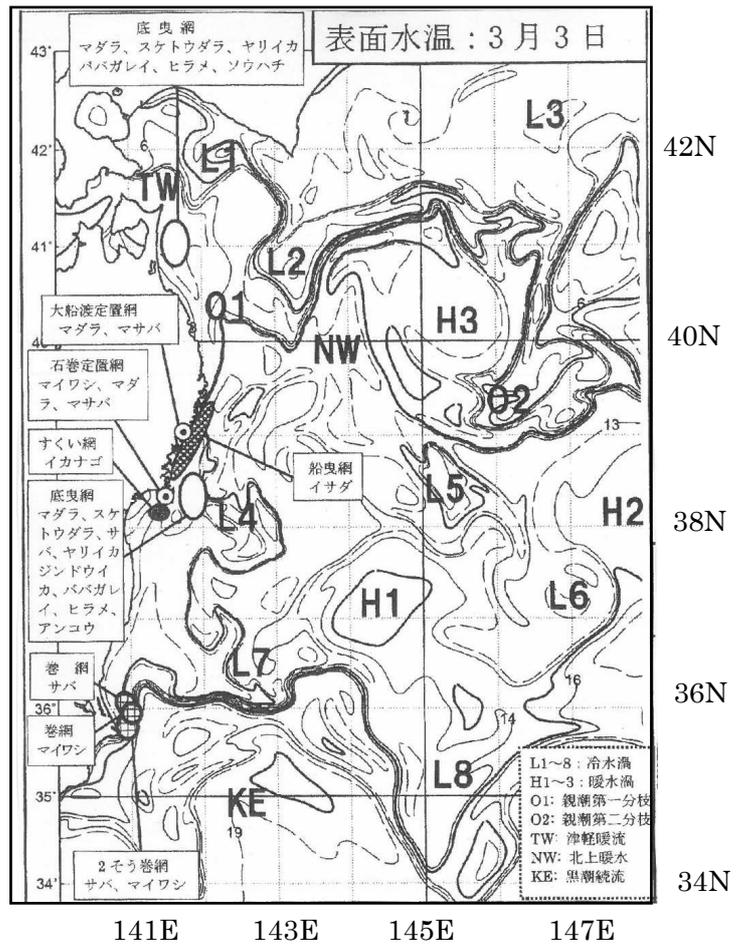


38° Nライン(巨理沖合ライン)



2016年3月3日の東北海域の海況(表面水温)

(一社) 漁業情報サービスセンター

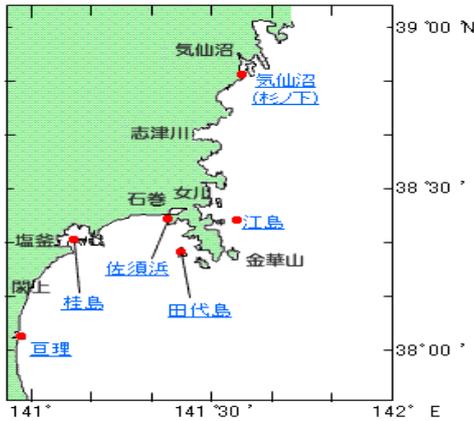


特記事項 (一社) 漁業情報サービスセンター

【海況】(3月3日表面水温)

- ・親潮第一分枝(O1:0~7°C)は襟裳岬南を南下して7°C台先端は黒崎沖 15 海里に滞留するも、宮古~仙台湾周辺に6~7°C台の冷水域が分布。
- ・親潮第二分枝(O2)は気仙沼沖 146° E 付近で滞留。
- ・津軽暖流(TW:9°C台)が下北沿岸を南下。
- ・8°Cの混合水が下北南部~宮古周辺に分布。
- ・黒潮(KE:17~19°C台)は離岸し、房総沖を蛇行して東進。
- ・鹿島灘沖を暖水が北上、鹿島灘~常磐周辺は8~11°C台の混合水域になっている。

・定地海洋観測



観測点	2月下旬		平年差	前年差
気仙沼(杉ノ下)	7.5 °C	平年並み	0.5 °C	0.0 °C
江島	8.2 °C	やや高め	0.7 °C	0.4 °C
佐須浜	7.6 °C	やや高め	1.2 °C	1.6 °C
桂島	6.2 °C	-	-	0.0 °C
巨理	7.8 °C	-	-	0.9 °C

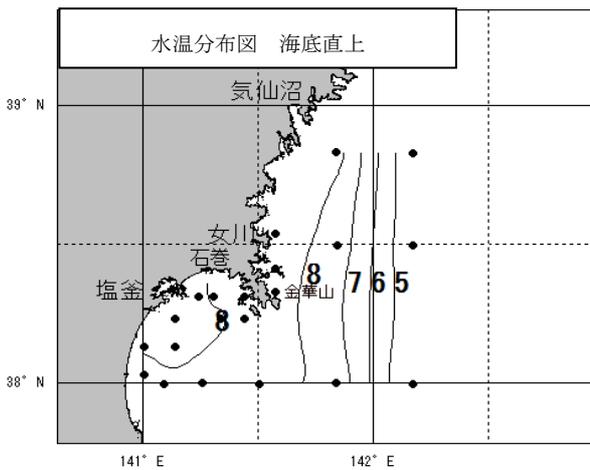
※田代島は自動観測装置による観測を中断しています。  
 ※平年差：気仙沼(杉ノ下) (30年), 江島 (30年), 佐須浜 (10年)  
 桂島 (平成24年3月から観測開始)  
 巨理 (平成24年10月から観測開始)

※最新の定地海洋観測結果は、

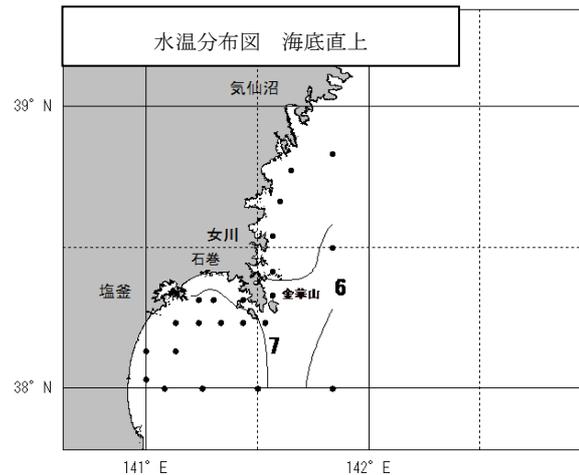
「<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/mtsc/201503suion-index.html>」でも公開中です。

・海底直上水温図

・海底直上水温(2016年3月7日～9日)

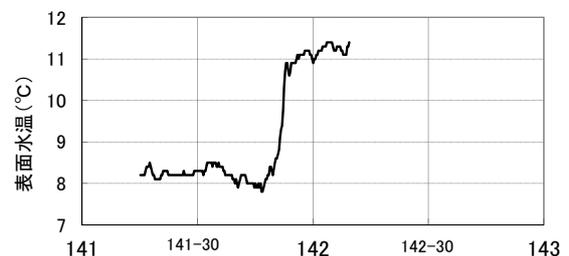
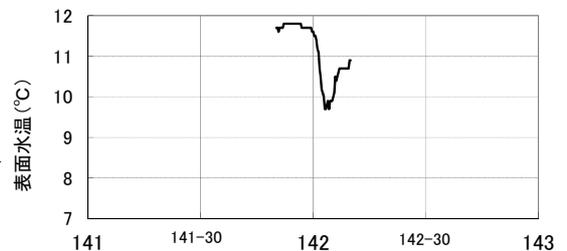
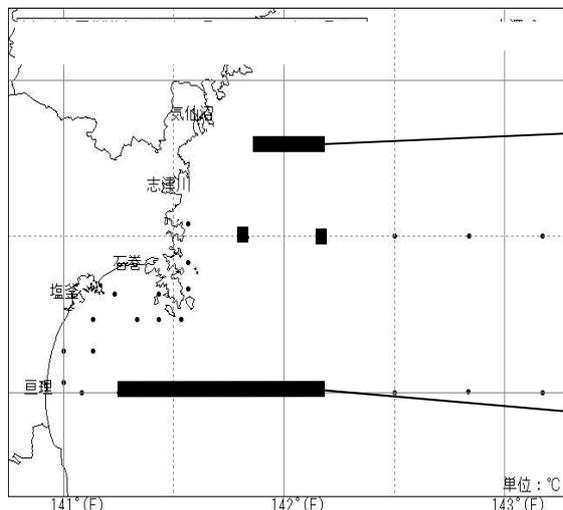


・海底直上水温(2015年3月18日～27日)



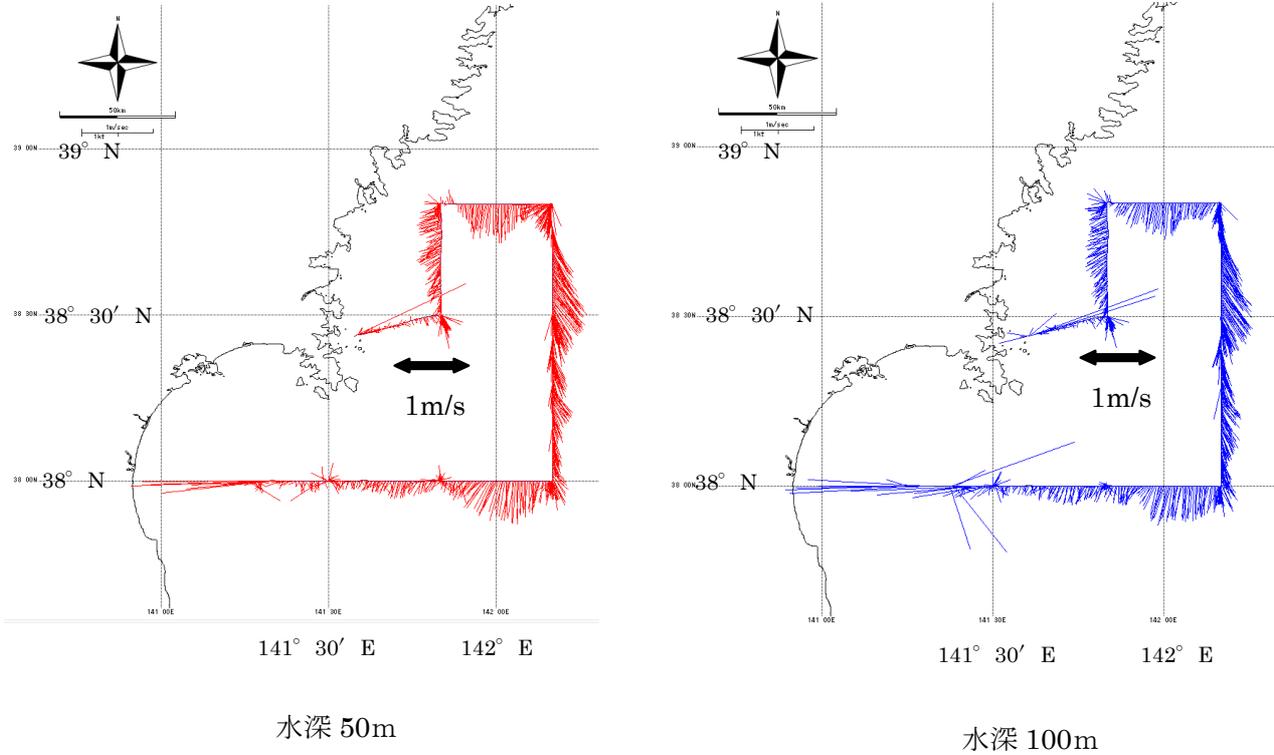
2. 表層水温情報

みやしおに搭載している「表層モニタリングシステム」で取得した航走表面水温は、下記の通りです。



### 3. 流向流速情報

みやしおに搭載している「超音波ドップラー流向流速計(ADCP)」で取得した 50m,100m 深の流向流速は、下記の通りです。概ね南向きの流れが観測されました。



※潮汐成分は除去されておりません。流向は測線から伸びている方向に流れがあることを示しています。

### 4. 漁況

平成 28 年 1 月の水揚量を見ると、前年に比べマイワシ、カタクチイワシの水揚げが特に多くなっています。一方、この時期の主要魚種であるマダラの水揚げは減少しています。

主要魚種の県内10魚市場水揚量(集計期間:平成28年1月1日~1月31日)

	単位:トン											
	沖底	小底	旋網	サンマ棒受	竿釣	定置網	刺網 全漁法	イカ釣り	延縄	その他	総計	前年同月比
ピンナガ									372	19	390	97%
クロマグロ(メジ含む)									1	2	3	124%
メバチマグロ(ダルマ含む)									44	2	46	39%
マイワシ		1				4219	0			89	4,308	225%
カタクチイワシ	56	1				3927					3,984	5741%
サバ類	68		6306			645	1			1	7,021	86%
スルメイカ	89	1				7				3	99	76%
ヤリイカ	96	5				6				6	112	77%
マダラ	735	79	114			87				441	1,456	61%
スケトウダラ	191	7				1	2			11	212	54%
キチジ	4									1	5	143%
ヒラメ	13	21				1	3			2	39	89%
マコガレイ	1	21				1	14			20	58	152%
マガレイ		6					3			0	9	46%
サマガレイ	1	0								0	1	604%
ババガレイ	8	0				0	1			3	13	78%

※宮城県総合水産行政情報システムによる集計(暫定集計値)  
 ※空欄は水揚げがないことを示し、0は1トン未満の水揚げを示す。

平成28年2月の水揚量を見ると、前年に比べビンナガ、マイワシ、サバ類、ヤリイカ、キチジ、マコガレイ及びババガレイの水揚げが特に多くなっています。一方、1月同様にマダラの水揚げは減少しています。

主要魚種の県内10魚市場水揚量(集計期間:平成28年2月1日~2月28日)

単位:トン

	沖底	小底	旋網	サンマ棒受	竿釣	定置網	刺網 全漁法	イカ釣り	延縄	その他	総計	前年同月比
ビンナガ									325	18	343	144%
クロマグロ(メジ含む)									1	2	3	151%
メバチマグロ(ダルマ含む)									36	3	39	44%
マイワシ	0	0				1,833				0	1,833	162%
カタクチイワシ						1					1	12%
サバ類	123	12	10,039			166	0			9	10,350	242%
スルメイカ	30	0	0			0				0	30	1474%
ヤリイカ	62	4	1			1	0			0	68	210%
マダラ	401	69				100	38			156	763	65%
スケトウダラ	158	7				0	0			7	173	45%
キチジ	19									0	19	206%
ヒラメ	31	8				0				1	41	67%
マコガレイ	6	20				0	15			21	61	180%
マガレイ		5					6			0	11	44%
サメガレイ	7	0					0			0	7	361%
ババガレイ	57	1				0	1			4	63	255%

※宮城県総合水産行政情報システムによる集計(暫定集計値)  
※空欄は水揚げがないことを示し、0は1トン未満の水揚げを示す。

## 5. 調査船運航計画

みやしお	
3月16日 ~ 3月17日	コウナゴ漁期前調査
3月23日 ~ 3月24日	底曳き調査

開洋	
3月16日 ~ 3月17日	コウナゴ漁期前調査
3月22日 ~ 3月23日	刺網調査